

2020年7月27日

乳房再建用ティッシュエキスパンダー・乳房インプラント安定供給再開のお知らせ

日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会

2013年7月、本邦で乳房再建用ティッシュエキスパンダーと乳房インプラント（ともにテクスチャードタイプ(表面がざらざらの性状)）が保険収載され、これまでに年間各 6000 個が使用されてきました。しかし、テクスチャードタイプによる乳房インプラント関連未分化大細胞型リンパ腫（Breast Implant Associated-Anaplastic Large Cell Lymphoma（BIA-ALCL））のリスクが報告されたことにより、2019年7月下旬、突然に出荷停止となりました。乳房再建を希望・待機されていた患者様には、ご迷惑・ご心配をおかけしたと思います。

その後、2019年10月8日、BIA-ALCLのリスクが少ないとされるスムーズタイプ(表面がつるつるの性状)のティッシュエキスパンダー（133S・ティッシュエキスパンダー）とインプラント（Inspiraシリーズ）が認可されました。いずれも、米国・カナダで流通しているもので、現時点で安全性が確認されている製品です。

当初はサイズ・タイプにより供給が制限されていましたが、現在は供給も安定しており、以前と同様に幅広い選択肢の中から使用出来るようになっていきます。従来のテクスチャードタイプのティッシュエキスパンダーが入ったまま待機しておられる患者様の入れ替えにも対応可能です。

人工物を用いた乳房再建を考慮されている患者様は、お近くの乳房再建用エキスパンダー・インプラント実施施設（<http://jopbs.umin.jp/general/shisetsu/index.html>）でご相談ください。